

塚谷 才弘 助教 修士(保健学)

Toshihiro Tsukatani

✉ toshihiro.tsukatani@komatsu-u.ac.jp

研究 Keyword

ヘルスプロモーション 介護予防 疫学 褥瘡 データベース

プロフィール

2020年 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 修士課程 修了

2020年 大垣市民病院 看護師

2022年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 助教

研究分野

公衆衛生看護学 / 疫学

所属学協会

日本臨床疫学会、日本サルコペニア・フレイル学会、日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本褥瘡学会



データと健康を結びつける

専門分野・研究分野

医療・保健データを利用したヘルスプロモーションへの取り組み

現在、日本の高齢化の急速な進行に伴い要支援・要介護高齢者が増加しており、高齢者本人のQOLの低下に加え、家族の負担の増大や医療・介護費の増加などが深刻な課題となっている。要介護状態への移行の要因として認知症、脳血管疾患、骨折・転倒などが挙げられ、地域で早期にアプローチし、要介護リスクを低減させることが重要である。

近年様々な医療データが整備・蓄積されてきており、リアルワールドデータの有効活用の重要性が高まっている。看護師として急性期病院で勤務していた経験から、疾患の一次予防や二次予防における個人の健康への意識や知識が重要であると感じ、疾患の予防や健康についての適切な情報提供や教育、疾患に対する個人の意識の改善が疾患の予防・予後に大きく寄与すると考え、地域の様々な保健・医療データの更なる有効活用ができるような研究を行いたいと考えている。

研究内容

リアルワールドデータを用いた地域高齢者の介護予防方法の検討

【因果推論を用いた地域高齢者に対する特定健診の効果の検証】

メタボリックシンドロームによる心血管疾患リスクの低減のために2008年より40～74歳の健康保険被保険者に対して特定健康診査（以下、特定健診）、特定保健指導が実施されている。高齢者においてメタボリックシンドロームは種々の疾患発症リスクを高めるだけでなく、疾患発症によりADLの低下やフレイルへ発展する可能性もあり、メタボリックシンドロームの進行を抑制することが重要である。しかし保健指導参加の有無には、健康への意識の違いや学歴など、健診受診者の様々な背景が関連している可能性があり、交絡やバイアス等への対処が必要である。そこで局所的な範囲で無作為割付の成立を仮定する準実験研究の手法に着目し、回帰不連続デザインを用いて単一自治体の高齢者における特定保健指導の影響を検討した。

【地域高齢者における過度の体重減少の要因の検討】

高齢者は退職による生活習慣の変化や、加齢による体脂肪の増加・骨格筋量の減少などの身体的な変化により、体重の推移が若年者と異なるとされる。また高齢者の体重減少は心血管疾患の死亡リスク上昇との関連が報告されており、過度の体重減少には注意を要する。そこで心血管疾患リスク（メタボリックシンドローム指標）に着目し、早期の体重減少リスク同定のため比較的若年の高齢者を対象として体重減少の要因を検討した。

シーズ・地域連携テーマ例

- 保健関連データの分析とアセスメント

受賞

- 2022年1月, Wound Healing Society, 2022 Anita Roberts Award

論文

- Polymorphism analysis of candidate risk genes for pressure injuries in older Japanese patients: A cross-sectional study at a long-term care hospital, Toshihiro Tsukatani, Takeo Minematsu, Misako Dai, Nao Tamai, Gojiro Nakagami, Junko Sugama, Chika Takada, Hiromi Sanada, *Wound Repair and Regeneration*, 29(5):741–751, 2021
- Risk scoring tool for forearm skin tears in Japanese older adults: A prospective cohort study, Takeo Minematsu, Misako Dai, Nao Tamai, Gojiro Nakagami, Tamae Urai, Ayano Nakai, Shiori Nitta, Yukie Kataoka, Weijie Kuang, Mao Kunimitsu, Toshihiro Tsukatani, Hajime Oyama, Tomohiro Yoshikawa, Chika Takada, Miyoko Kuwata, Hiromi Sanada, *Journal of Tissue Viability*, 30(2):155–160, 2021

講演・口頭発表等

- 地域高齢者における体重減少とメタボリックシンドローム指標との関連：単一自治体の特定健診データの分析、塚谷才弘、中田明恵、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会、2024年1月
- アクティブラーニングによる地域診断演習における学生の学び、中田明恵、塚谷才弘、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会、2024年1月
- 特定保健指導が高齢者の1年後の健診結果に与える影響：回帰不連続デザインによる検討、塚谷才弘、中田明恵、池田美智子、第82回日本公衆衛生学会総会、2023年11月
- 日本人高齢者における褥瘡リスク遺伝子の多型解析：長期療養型病院における横断研究、塚谷才弘他、第22回日本褥瘡学会学術集会、2020年9月

社会貢献活動

- 第5期 こまつ市民大学 講師（2023年2月）



図1. 因果推論の考え方をまとめた書籍[Causal Inference: What If]
URL: <https://www.hsph.harvard.edu/miguel-hernan/causal-inference-book/>